



月刊ジオパーク12月号 第13回日本ジオパーク全国大会in関東に参加しました！

喜界島ジオパーク認定推進員 土屋純子



喜界島ジオパーク(構想)のTシャツを着て大会に参加しました！

2023年10月26日から29日にかけて、「第13回日本ジオパーク全国大会in関東」が開催されました。この大会は年に一度、日本全国に46あるジオパークのうちの1地域が会場となり、持ち回りで開催されています。今年の大会は、首都圏に近い関東ブロックのジオパークとジオパークを目指す地域が、協働でジオパーク活動の意義を広く伝え、

ジオパークブランドの向上に貢献するとともに、日本ジオパークネットワークの情報交換や意見交換などの機会を作り、ジオパークの発展につなげることを目的に開催されました。(日本ジオパークネットワークHPより引用) 今回の大会では全国から約800人の関係者が集まりました。喜界島ジオパーク推進協議会からは、会長である隈崎町長と企画観光課長、事務局員3名が、メイン会場である銚子ジオパークでの大会に参加しました。

大会期間中は、各ジオパークが組や課題を紹介し、その情報の共有とテーマごとに専門的な討議等を行うため、分科会や口頭発表、ポスター発表、一般向け基調講演等、盛沢山のプログラムが用意され、それぞれのプログラムで活発な議論が交わされていました。このプログラムの一つには、日本ジオパーク認定の申請を目指す地域が、申請について相談する相談会も開催されました。将来的に日本ジオパークの認定を目指す喜界島ジオパーク推進協議会もこの

会に参加し、隈崎町長と鈴木統括研究員から「喜界島におけるジオパーク認定に向けた取組」と題し、日本ジオパークを認定する専門家や関係者に向けて、喜界島がジオパーク認定を目指す理由や取組を紹介しました。発表後の質疑応答では、参加者からジオパーク申請に向けたアドバイスや前向きな感想を多くいただき、申請に向けた大きな励みとなりました。

ポスター発表の会場では、事務局の土地事務局長と私が「喜界島ジオパーク(構想)における島民のジオパーク認知向上に向けた取組」と題したポスターの前に立ち、大会の参加者に向けて、ジオパーク給食、ロゴマークの公募と披露目式、サンゴの石垣修復などなど、喜界島でのジオパークの認知向上に向けた様々な取組を紹介しました。私達の方の入ったアピールのおかげでしょうか。ポスターの前には多くの方が立ち止まっていただき、興味深く私たちの話を聞いてくださいました。また、ポスター発表の会場では、日本各地のジオパーク

における取組の紹介や高校生による発表もあり、日本各地のジオパークの情報を知るとともに、日本各地のジオパークの方々とお話しすることができ、交流を深める事ができました。

今回、ジオパーク全国大会に参加して、喜界島の事を初めて知ったけれども「もっと喜界島を知りたい!」、「喜界島に行ってみたい!」という方が多い印象を受けました。ジオパークの取組に参加することは、喜界島の認知度を上げたり、喜界島の魅力を広く知ってもらえたりすることにも繋がることを実感しました。今後も、日本ジオパーク認定に向けて、島民の方々を含む多くの方に、喜界島ジオパークを広める活動を進めていきたいと強く思いました。



ポスター発表会場では、ポスターの前で多くの人に喜界島をアピールしました。